

はっくつ はっけん おも いこう いぶつ  
 これまでの発掘で発見された主な遺構や遺物



塩の城の上では、2000 近くの穴が見つかりました。これらの多くは、建物の柱の跡です。長い年月の間に何回も建物を建て替えたものと思われる。



曲輪の入り口を虎口といえます。塩の城の虎口は、直接曲輪に入れないように、下から登って来ると 90 度曲がって入る形をしていました。



曲輪の周囲には、溝(空堀)が作られていました。深さは約 1 ~ 2 m あります。



写真はうるしの椀で、木の部分は溶けて、うるしの膜だけが残った状態で見つかりました。堀の中からは、農具やげたなどの木器が出土しました。



写真は、竹で組んだ土留めで、箆といえます。塩の城の下で見つかりました。この他にも堀の中から、六角形や八角形に削られた柱の根元が見つかりました。



木札に墨で字を書いた木簡が堀から出土しました。「南無」という字が読めます。



おきたの城の南側から(右図の), 鍛冶に用いられる坩堝が 8 点出土しました。現時点では何を作っていたかは分かりませんが、今後の調査で解明していきたいと思ひます。

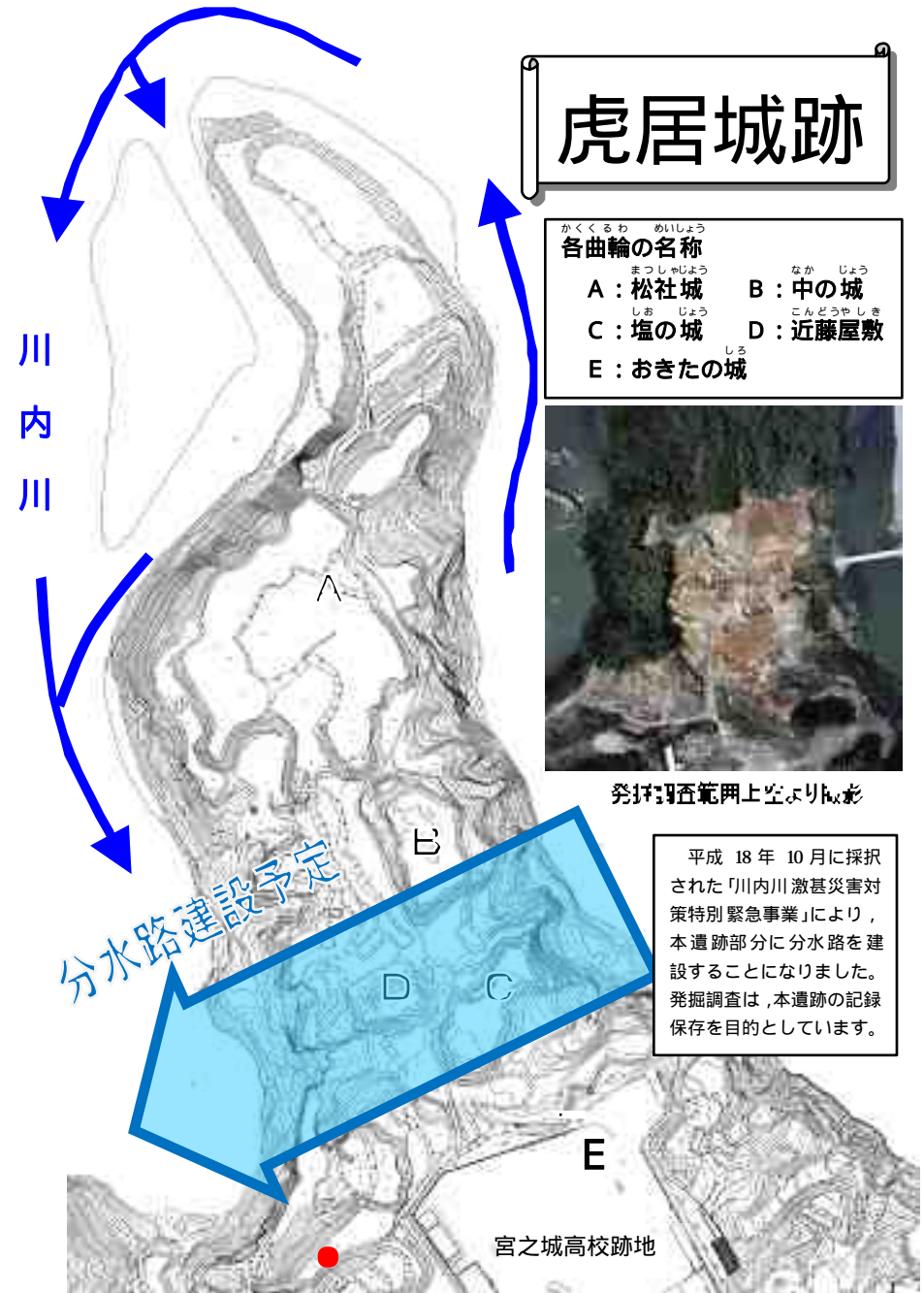
# 虎居城跡

- かくるわ めいしよう  
 各曲輪の名称
- |           |          |
|-----------|----------|
| A : 松社城   | B : 中の城  |
| C : 塩の城   | D : 近藤屋敷 |
| E : おきたの城 |          |



発掘調査範囲上空より撮影

平成 18 年 10 月に採択された「川内川 激甚災害対策特別緊急事業」により、本遺跡部分に分水路を建設することになりました。発掘調査は、本遺跡の記録保存を目的としています。



川内川

分水路建設予定

宮之城高校跡地



鹿児島県立埋蔵文化財センター

# 虎居城跡

## 発掘調査現地説明会資料

### とらいじょう 虎居城について

かごしまけん ちゆうせい やまじろ しよいじょうそんざい  
鹿児島県には中世の山城が800か所以上存在していたといわれています。  
ちゆうせい やまじろ やま たに ちけい りよう まも せ ばしょ つく  
中世の山城は、山や谷の地形を利用し、守りやすく攻められにくい場所に造ら  
れていました。山の上を平坦にして屋敷などの陣を構えたり、谷をさらに掘りこん  
ぼうぎよ ほり つく  
で防御のための堀を造ったりしました。

とらいじょう へいあんじだいまつき やく ねんまえ けどういんぐんじおおくまし ちくじょう  
虎居城は、平安時代末期（約800年前）に祁答院郡司大前氏によって築城さ  
つた ご けどういんちほう おさ かまくらじだい しぶやし あづち  
れたと伝えられています。その後、祁答院地方を治めた鎌倉時代の渋谷氏、安土・  
ももやまじだい しまつとしひさ ほんごうし きよじょう みやのじょう ちめい ほんごう  
桃山時代の島津歳久・北郷氏の居城となりました。「宮之城」という地名は、北郷  
し しゅっしんち みやこのじょう なづ ほんごうし みやこのじょう  
氏の出身地「都城」にちなんで名付けられたということです。北郷氏が都城  
りょうしゅ みやこのじょう ふつき みやのじょうりょうしゅ しまつただなが きよじょう  
領主として都城に復帰したのちは、宮之城領主として島津忠長が居城し、  
みやのじょうしまづけ おこ えどじだい げんながねん ねん いっこいちじょうれい  
宮之城島津家が興りました。江戸時代の元和元年（1615年）の一国一城令によ  
しる きのう うしな はいじょう かんが  
り城としての機能が失われ、廃城になったと考えられます。

出典：宮之城町史、川内市史上巻、旧記雑録

### ようごせつめい 用語説明

いこう むかし ひとびと せいかつ じめん ほ つく  
遺構：昔の人々の生活によって、地面に掘りこまれたり、造られたりしたものの

こと。例えば、住居跡、溝跡、炉跡などがあります。

いぶつ むかし ひとびと つか どうぐ せっき どき もくせいひん きんぞくせいひん  
遺物：昔の人々が使った道具などです。石器や土器、木製品、金属製品などが  
あります。

くるわ やくわり きのう あ じょう ない かく ばしょ  
曲輪：役割や機能に合わせて、城内を区画した場所のこと。

どるい てき しんにゆう ふせ え つち こだか も つく どて  
土塁：敵の侵入を防ぐために、土を小高く盛って造った土手のこと。

ほり てき しんにゆう ふせ ほ みぞ ようい こ はば ぶか  
堀：敵の侵入を防ぐために掘られた溝のこと。容易に越えられない幅と深さを  
も  
持っています。

「上野原縄文の森」で、虎居城跡の出土遺物の一部を展示します。

期間 平成21年7月18日(土)～11月29日(日)

場所 上野原縄文の森展示館 霧島市国分上野原縄文の森1番1号  
TEL 0995-48-5701

鹿児島県立埋蔵文化財センター 〒899-4318 霧島市国分上野原縄文の森2番1号  
TEL 0995-48-5811 FAX 0995-48-5821 URL <http://www.iomon-no-mori.jp>

平成21年7月4日(土)